

学びのネットワーク 市民講師によるサロン塾

「人材バンク推進委員の会と」市民大学との共同企画

第5回 人生講話と写経

一こころ静かに講話を聴き 写経に心傾ける一

日時 11月1日(月) 13:30~15:30
会場 鶴瀬公民館 いきいき活動室
講師 横山 克英氏 来迎寺住職
受講生 13名

講話

どの宗派も仏教というひとくくりにされてしまいますが、来迎寺は臨済宗です。沢山ある教えの中で釈迦の言った言葉は何でしょうか。

意味は悪いことはしていけない、良いことをしなさいということです。

唐時代に道林禅師と詩人の白樂天の会話で、当たり前で3歳児にもわかることですが実行は80歳のお年寄りでも難しい。

「言うは易く、行うは難しい」ということです。

善行を親切に置き換えて話を進めると、そもそも親切とは何か。答えを求められた受講生から他人に優しくする。利害を考えずに接する。

親切については4月1日の朝日新聞の天声人語、視覚障がいの方が、4年間、小学生のバス乗車の手助けで気持ちを前向きにさせることができたエピソード、如いては街の雰囲気も良くなるのでは。

また学生の投書から高齢の方に席を譲ったがお礼の言葉がなく、釈然としないう内容で、親切とは難しい。



講師 横山 克英氏

親切の不思議、相手の為でなく、巡り巡って自分の為
情けは人の為ならず、
めぐり巡って己の身の為
天台宗の最澄は奈良で学び、16歳で発心して比叡山に上った。
誓いの言葉で 生けるとき善をなさずんば、
死する日、獄の薪とならん



横山住職は、本を読んでインド人は親切にされてもお礼を言わないと知った。親切は他人の為ではなく自分の為にやったことと考えれば、受けた方はお礼・見返りは必要ないと言える。

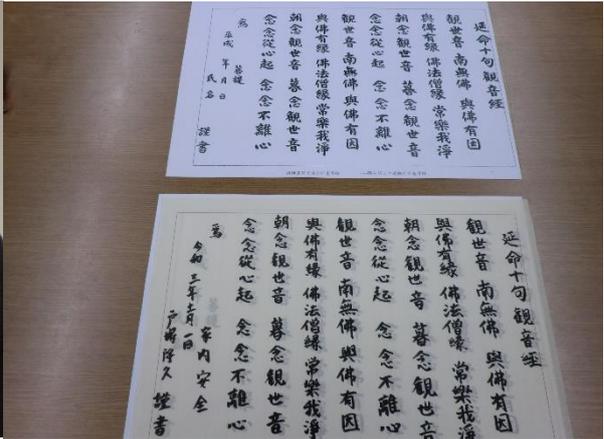
「布施を知らずば これ佛の布施なり。」親切はした人に徳を積ませてやっているともいえるだろう。

写経の時間 「延命十句観音経」

横山住職から何点か注意事項があり、その後お手本に従って受講生は一斉に写経を始めました。提出をされた写経は、本山に送り届けていただける予定です。

質疑

1. 感謝の言葉について
2. 本音と建て前
3. 聖人君子
4. 戒名 本来は生前に仏門に入り、いただくのが戒名で
出家して清心な暮らしをするためです
例 瀬戸内寂聴氏の「寂聴」が戒名
5. お布施
多くの質問に丁寧な対応をしてくださいました。



報告 加藤久美子